

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一、木村 初

2022年4月22日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

オンダンセトロン注 4mg シリンジ「マルイシ」（麻酔科・中央手術部）【手術室限定】

薬効： 5-HT3 受容体拮抗型制吐剤

申請理由： 全身麻酔後の PONV に対し、麻酔科学会からの要請に基づき公知申請から適応追加となった。有効性が高く PONV リスクの高い症例に使用予定。

採用中止薬剤： トラベルミン注

ガドテル酸メグルミン静注 38%シリンジ 11mL・15 mL「GE」（中央放射線部）【放射線部管理】

薬効： 環状型 MRI 用造影剤

申請理由： マグネスコープの後発品で入院患者での MRI 造影に使用することでコストダウンが図れるため。

採用中止薬剤： 在庫管理を放射線部とする

② 後発品変更について

後発品が年に2回、発売されるため、継続的な後発品の変更が必要

先発名	薬価	後発名	薬価
ネオーラル 10mg カプセル	72.9	シクロスポリンカプセル 10mg「サンド」	31.3
ネオーラル 25mg カプセル	157.6	シクロスポリンカプセル 25mg「サンド」	63.5
ネオーラル 50mg カプセル	269.3	シクロスポリンカプセル 50mg「サンド」	106.1

※これまでどおり、外来での処方先発品での対応もできるようにします

③ 生食 50 mL の剤形変更について

生食 50 mL の剤形が、プラボトルからバック製剤へ変更となります。

④ 使用成績調査について

1. 調査区分：使用成績調査

2. 医薬品名：フェインジェクト静注 500mg

3. 調査目的：フェインジェクト静注 500mg の承認条件である医薬品リスク管理計画に基づき、本剤の製造販売後の使用実態下における安全性、有効性及び適正情報を把握することを目的とする。

4. 調査予定期間：契約期間開始日から 2025 年 3 月

登録期間：契約期間開始日から 2024 年 12 月

観察期間：1 症例あたり本剤投与開始日から 12 週間。

5. 予定症例数：3 例

6. 調査責任医師：内間恭武先生

調査分担医師：なし

⑤ 必要時指示について

医師の指示通り、看護師が頓用薬の必要時に薬剤の実施オーダーができるようにするシステム。原則として薬剤は**病棟のストック薬 Box** から使用されます。

セットの中に入っている薬剤を使用してください。(薬剤の種類変更は行わないでください。)

必要時指示のオーダー方法

①「セット入力」を開きます。

②「必要時」ボタンを選択。

セット一覧(オーダーセット選択画面)が開く。

③「病院」もしくは「科」タブを選択。

セット一覧には、病院セット、科セット(予め看護部等と協議の上決定した薬剤内容がすでに組まれています。以下は内科医の画面です。)

「血液内科」を選択した場合、以下の頓用選択が可能です。

オーダー	薬剤	必要時	詳細表示
病院	科	医師	
血液内科			
血液内科			